

1 コミュニケーションボードを利用しましょう。

■切符や割引証を見せてもらいたい場合 →

コミュニケーションボードの『もっていますか?』を使って聞いてください。

■何か困っている場合

→ 『何をしたいの?』の絵を指差してもらいます。

■連絡先がわからなくて困った場合

→ 『あなたの・・・?』をひとつずつ指差して聞いてください。



切符や駅構内の写真を貼り付けて、オリジナルのコミュニケーションボードを作ってください。より意思疎通がスムーズになるでしょう。

2 連絡してください。

本人の自宅など保護者の連絡先が記入してあるものを持っていませんか?
キーホルダー、名札、療育手帳、携帯電話など・・・
確認してみてください。



3 地域の連絡先にご一報ください。

保護者などに連絡のつかない場合は、身近な関連機関にご一報ください。

★ もしものときのために、お近くの連絡先を記入しておくとう便利です。

支援センター	
福祉事務所	
警察署	

知的な障害がある人のセーフティネットをめざして

発行：2005年3月

発行者：プロテクション・アンド・アドボカシー・大阪(P&A-大阪)

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町 1-46-4 昭和土地建物ビル 2F 辻川法律事務所内